# 学問への扉

# 第6回 (高野分)

大阪大学 高野祐輝

ytakano@cy2sec.comm.eng.osaka-u.ac.jp

# AArch64のアドレス変換

#### AArch640MU

- AArch64は4、16、64 KiBのページサイズを利用可能。この講義では 64KiBの例を示す。
- ・また、この講義では、2、3番目のアドレス変換テーブルを利用する例を示す。

#### <u>^°</u>— シ

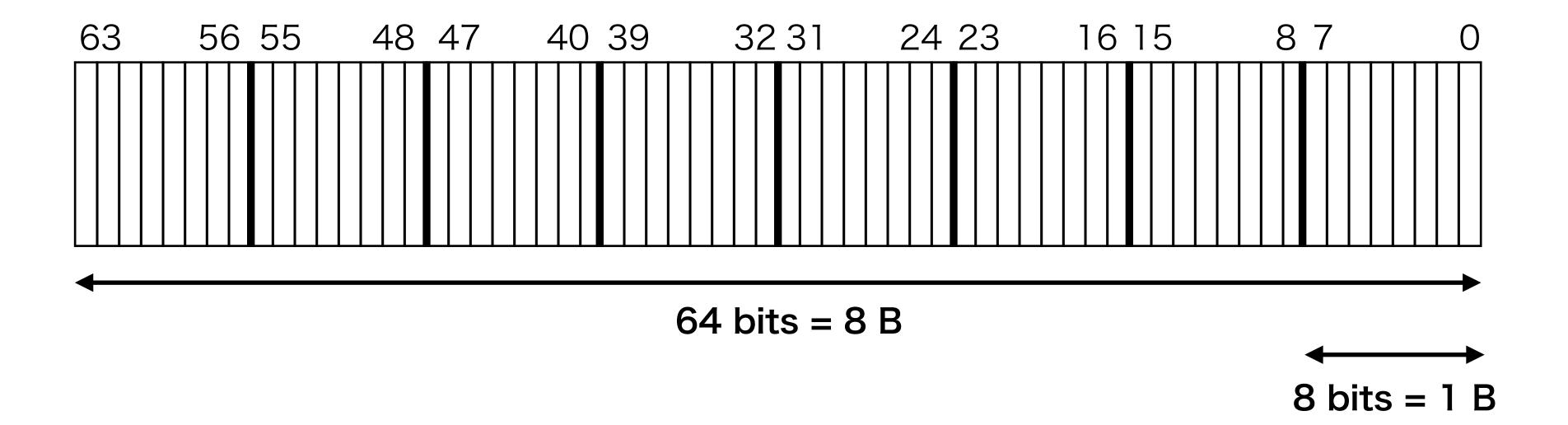
- ・ページはメモリの集まり。
- ・OSはメモリ空間をページ単位で管理する。
- 例:
  - ・もしページサイズが64KiBなら、OSのメモリ管理単位は64KiBに。
- Linuxの場合はページサイズが4KiB

#### エンティティ (登場人物)

- ・仮想アドレス: 仮想メモリのアドレス
- 物理アドレス: 物理メモリのアドレス
- ・レベル2変換表: レベル3変換表のエントリへのポインタ
- ・レベル3変換表: 物理アドレスへの変換表

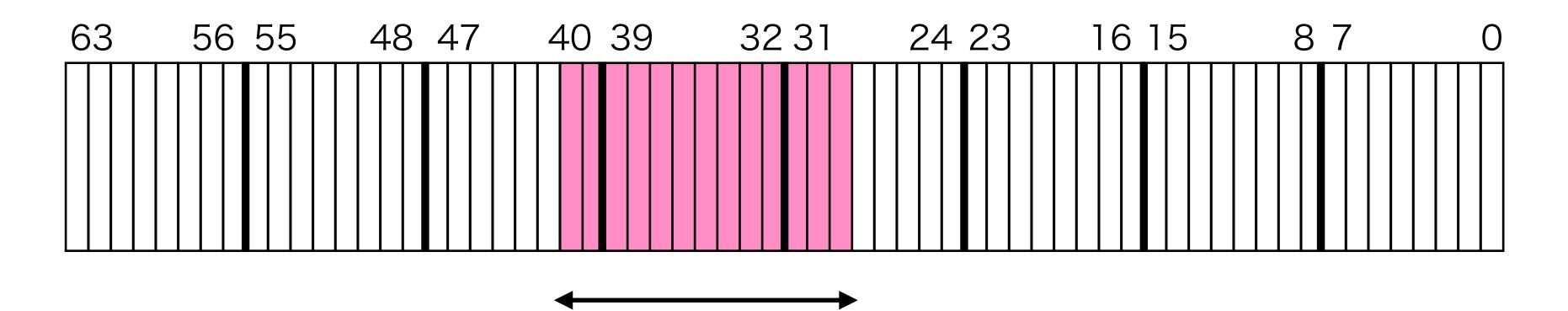
#### 仮想アドレスの構成

・64ビットCPUは64ビットのアドレス空間を持つ



# 仮想アドレスの構成レベル2インデックス

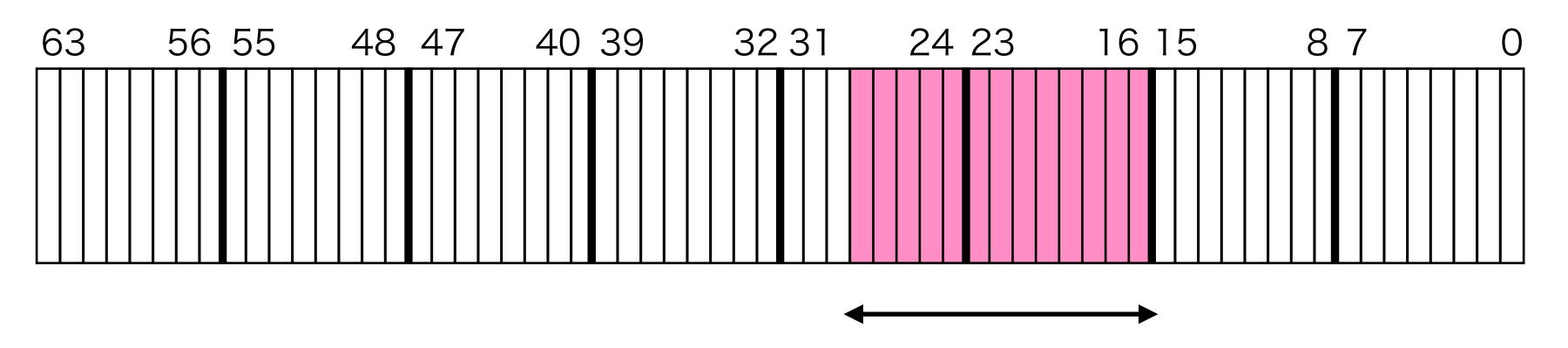
- ・ 仮想アドレスの構成のビット[41:29]は、レベル2変換表のインデックスに
- ・13ビットなので、0…8191の範囲



レベル2インデックス、13ビット [41:29]の範囲

# 仮想アドレスの構成レベル3インデックス

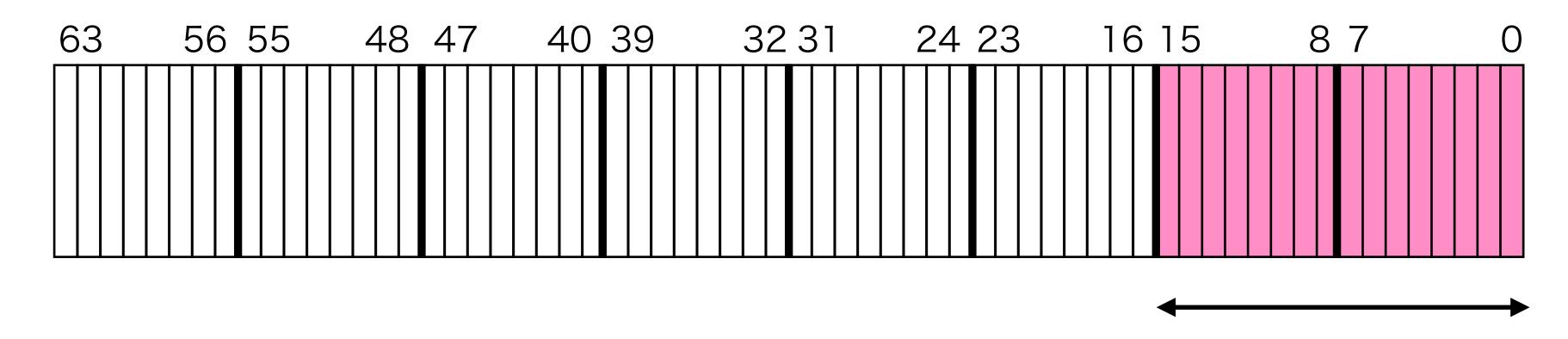
・仮想アドレスのビット[28:16]は、レベル3変換表のインデックスに



レベル3インデックス、13ビット [28:16]の範囲

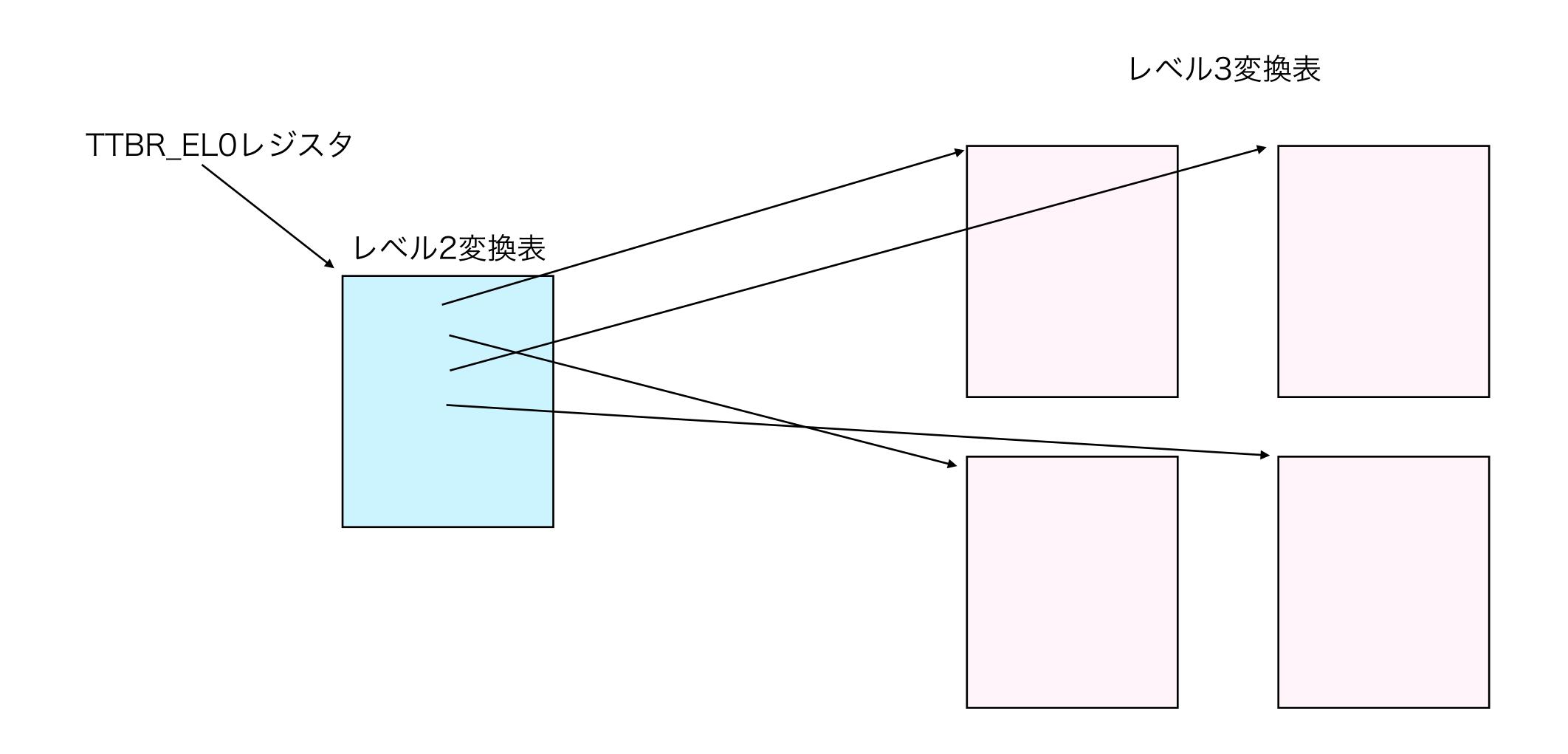
#### 仮想アドレスの構成 下位16ビット物理アドレス

・下位16ビットは物理アドレスとして利用

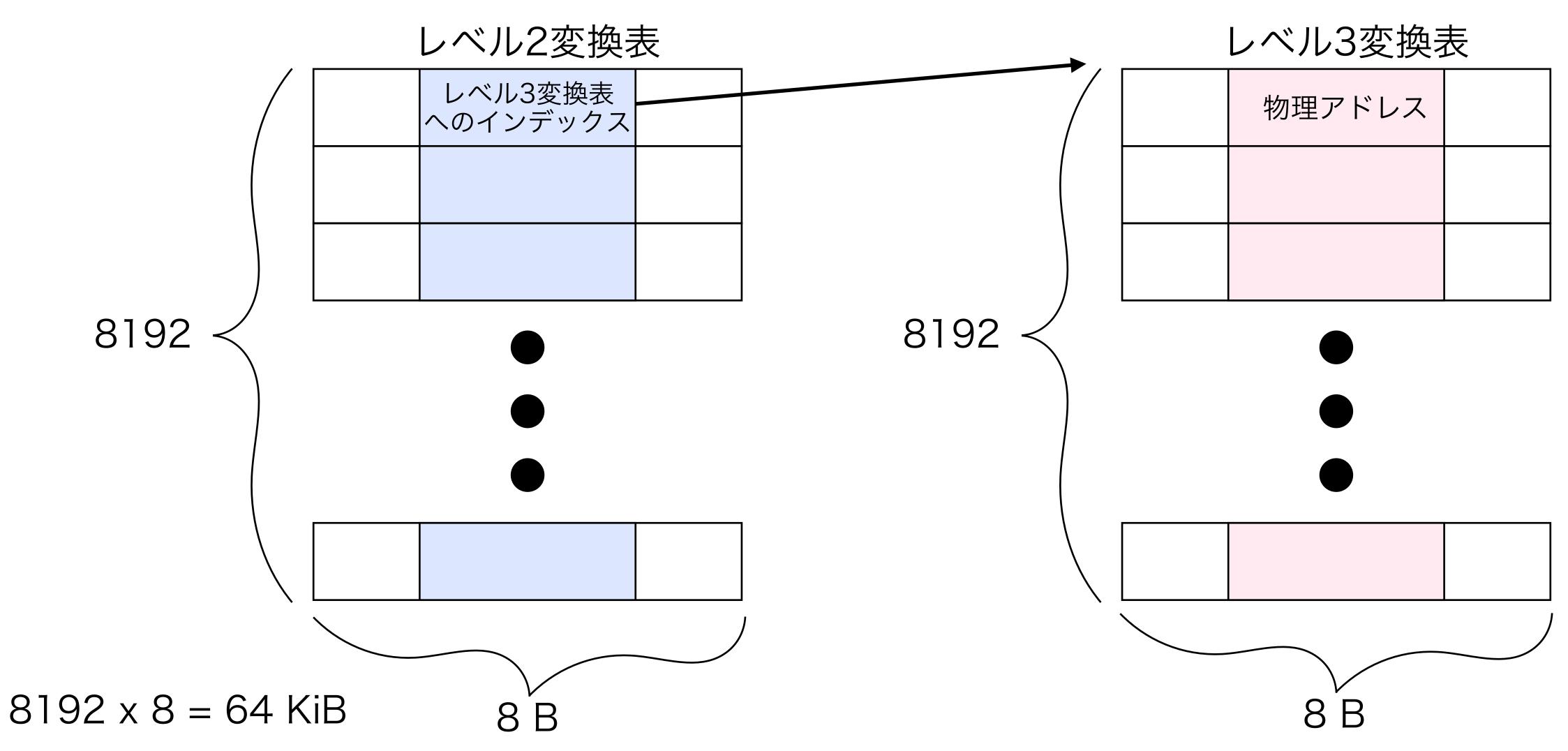


仮想アドレスの下位16ビットと 物理アドレスの下位16ビットは同じ値になる

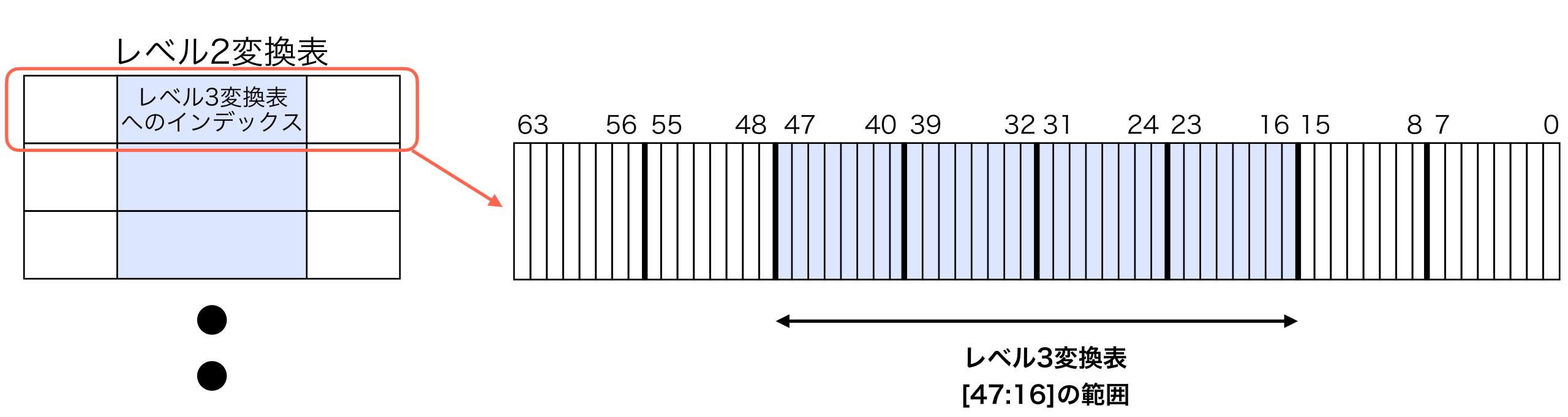
# レベル2と3変換表



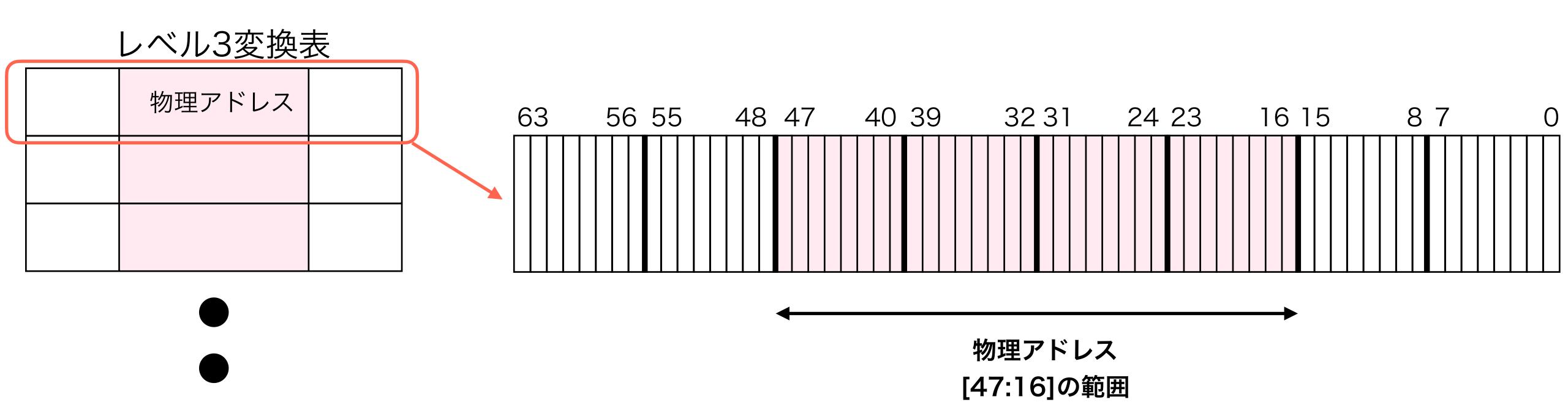
# レベル2と3変換表の詳細



# レベル2変換表のエントリ



# レベル3変換表



# レベル3変換表のエントリ

